令和４年度第１回
学校関係者評価報告書

学校法人一川学園

専門学校

越生自動車大学校

2022/7/27

１　学校関係者評価委員会開催概要

１）　会議名：令和４年度　第１回学校関係者評価委員会
２）　開催日時：令和４年７月２７日（水）１５：１５～１６：１５
３）　場所：専門学校越生自動車大学校　１階会議室
４）　出席者：学校関係者評価委員
奥泉政美（保護者・本校後援会副会長）
廣澤孝男（地元・広沢モータース代表）
秋山　浩（埼玉スバル株式会社　執行役員総務部長）
今井和一（ネッツトヨタ東埼玉株式会社　人事部長）

学校側（事務局）
一川高一　　専門学校　越生自動車大学校　理事長
市川剛士　　専門学校　越生自動車大学校　学校長
市川治子　　専門学校　越生自動車大学校　事務長
内田　慎　　専門学校　越生自動車大学校　教頭
新井　司　　専門学校　越生自動車大学校　教育部長
西久保哲也　専門学校　越生自動車大学校　統括学科長
田村明洋　　専門学校　越生自動車大学校　教教務課長（書記）

２　委員会次第
１）　開会
２）　理事長挨拶
３）　学校長近況報告
４）　議事
①前回の委員会での指摘事項改善報告
②令和３年度自己評価をもとに外部評価の実施
③その他意見交換
５）　次回度開催日程・事務連絡について
６）　閉会

３　開　会
４　理事長挨拶
コロナ禍、そして酷暑の中お集まりいただきありがとうございます。
学校教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。学校も６０周年の節目、記念事業もすべて完成し、新しい設備・施設に負けない教育を行

い、発展させていきたいと考えている。今後も変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

5　学校長近況報告

お忙しい中、そして酷暑の中お集まりいただきありがとうございます。
令和４年度も４ヶ月が過ぎましたが、新型コロナウイルスの大型感染等もなく、授業も順調に進んでおります。学生数は微増となりましたが、目標数には届いておらず、引き続き学生募集活動に力を入れていきたい。新実習棟の愛称を「OAC BASE」といたしました。建物のコンセプトは実習棟らしくない実習棟にすること、今までの味気ないものから、壁や柱には明るい色使いをして、窓も両サイドに広くとり明るい空間にして学生達が実習授業を楽しみにしてくれることを狙いにしています。そして BASE には、物事の始まりや、基点の意味を含め、この「OAC BASE」で技術者としての基礎をしっかりと学んでもらいたいと願い命名いたしました。秋には創立６０周年記念式典を予定しておりますので宜しくお願い致します。

6　議事

①前回の委員会での指摘事項改善報告

学生募集活動について

秋山委員
夏のイベントでの集客目標は何人ですか？
土日 2 日間で、出来れば 200～300 人程度集客したと思います。
お陰様で、2 日間で 550 人の方々に来校していただいた。
来年度は、準備をしっかりして集客アップを狙いたい。

清水委員
整備士希望の減少を食い止めるため、子供対象のイベントを考えてはどうか？
10 月に熊谷自動車検査登録事務所での「キッズ集まれ！自動車点検まつり」に参加、子供たちにラジコンカーで楽しんでもらった。1 日で 383 人の集客を得ることができました。

廣澤委員
特定整備認証は取れたのか？
本年 5 月に認証工場取得済である。

②令和３年度自己評価をもとに外部評価の実施

令和３年度自己評価をもとに外部評価を実施
個人別評価書は、各委員の評価は、すべての項目で良との評価を頂くことができた。

③その他意見交換
秋山委員
現在での学生募集状況は？
現時点では昨年度より少し良いと思いますが、夏のオープンキャンパス（７月～８月）がどうなるかで状況が決まってきます。よって、これからが学生募集活動の正念場となります。

７　次回開催日の確認
令和４年１２月２３日（金）１５：１０～１６：１０

８　閉　会

・新井教育部長・・・今年度の学生募集活動進捗状況について

現在の来年度入学予定者総数は、４７名である。
内訳は
1 級自動車整備科　　18 名
2 級自動車整備科　　13 名
1 級自動車整備専攻科　16 名となっている。
前年対比では＋12 名となっているが、これは内部進学者が 16 名と増加したことによる。高校卒業予定者の入学者数は伸び悩んでいる。創立 60 周年の記念事業として、校舎・実習棟を新築し教育環境は見違えるほど向上した。何としても、ここ数年で目標とする入学者数を確保できる学校にしなければならない。教職員一丸となって学生募集活動を展開していく覚悟である。尚、来年度に向けての明るい兆しは、高校 2 年生のオープンキャンパス参加者が 21 名と対前年比＋10 名で約 2 倍となったことである。年明け早々から、2 年生の来校者をターゲットにした募集活動を実施していく予定である。3 年生でもう一度来校してもらえると格段に入学確度が高まってくることを念頭に、取りこぼしの無いよう対応していく。

令和４年度第２回
学校関係者評価報告書

学校法人一川学園

専門学校

越生自動車大学校

2022/12/23

1　学校関係者評価委員会開催概要

1）　会議名：令和４年度　第２回学校関係者評価委員会
2）　開催日時：令和４年１２月２３日（金）１５：１０～１６：１０
3）　場所：専門学校越生自動車大学校　１階会議室
4）　出席者：学校関係者評価委員
若林悦子（保護者・本校後援会副会長）
秋山　浩（埼玉スバル株式会社　執行役員総務部長）
清水政和（ネッツトヨタ東埼玉株式会社　人事部長）
学校側（事務局）
一川高一　　専門学校　越生自動車大学校　理事長
市川剛士　　専門学校　越生自動車大学校　学校長
市川治子　　専門学校　越生自動車大学校　事務長
内田　慎　　専門学校　越生自動車大学校　教頭
新井　司　　専門学校　越生自動車大学校　教育部長
西久保哲也　専門学校　越生自動車大学校　統括学科長
アドバイザー
滝口宏明（ネッツトヨタ東埼玉株式会社　サービス課長）

2　委員会次第
1）　開会
2）　理事長挨拶
3）　学校長近況報告
4）　議事
①前回の委員会での指摘事項改善報告
②分掌別中間評価・自己点検中間評価について
③その他意見交換
5）　次回度開催日程・事務連絡について
6）　閉会

3　開会
4　理事長挨拶
お忙しいところ、コロナ禍の中お集まりいただきありがとうございます。６０周年式典開催の際は、多大なるご厚誼に預かりまして誠にありがとうございました。年度途中の自己点検評価の程宜しくお願い致します。

5　学校長近況報告

日頃より、本学の教育活動にご理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。本日の会より、新委員として若林悦子氏（保護者代表）をお迎えすることができました。これから２年間宜しくお願い致します。

コロナ禍と共存して、学校行事も工夫して実施することができました。学生募集活動は厳しい状況ですが、１級課程への進学希望者は増加傾向にあると感じています。前回の委員会でお話した夏のイベントも、２日間で約５５０名の皆さんに来校いただきました。地元の子供たちがイベントに参加し、自動車の楽しさや面白さを感じてもらえたと思います。これからの自動車整備士の在り方や求められるものは、何なのか考えていかなければならないと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

6　議事

①前回の委員会での指摘事項改善報告

・夏のイベントの目標集客数は？
　初めての試みなので、２日間で５００名程度と考えています。

・子供を対象とするイベントを考えてはどうか？
　小さい頃（小学生～）から来校できるイベントを増やす、学校の認知度アップやクルマ好きを増やす工夫を考える

・学生達に実務経験に近い経験させるのも有意義なのではないか？

②分掌別中間評価・自己点検中間評価について

・別紙令和４年度学校関係者評価委員の中間評価書にて実施

意見交換等

・自動車整備士のネガティブな発信が目に付く・・・清水委員
・Ｗｅｂパンフの移行について・・・・・・・・・・若林委員
・トヨタ自動車も車のカタログをＷｅｂパンフに移行予定・・・清水委員

7　事務連絡

・次回開催日の確認　令和５年７月２６日（水）